

# 福祉文化通信

～ Well-being への道～

2019.3.31  
Vol. 88

●発行所／広報委員会  
徳田 真彦・稲田 泰紀  
●作成／長瀬 さやか

日本福祉文化学会事務局 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-4-13 南星ビル701 Tel / Fax: 06-4963-3410 E-mail: fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp

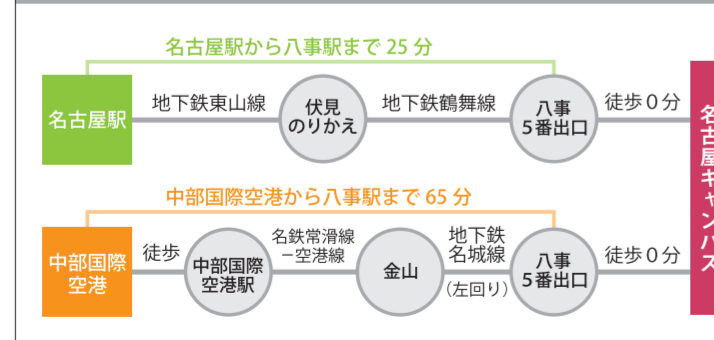


中京大学名古屋キャンパス

とりわけ、これから求めら

東海大会 大会日程	
11月30日(土)	開会セレモニー 基調報告 記念講演 休憩(ロビー展・パネル展) シンポジウム・鼎談 特別企画 懇親会
12月1日(日)	総会 閉会セレモニー 研究発表 現場セミナー

## 大会会場までのアクセス



11月30日(土)・12月1日(日)は名古屋にいらして。2日間の日程で、中京大学名古屋キャンパス内センタービル(0号館)にて、記念すべき第30回大会が開催されます。30年目の節目ですが、過去の振り返りに留まらず、これから大会開催を企画中です。中部東海

ブロックには、愛知県のほか、静岡県、三重県、岐阜県、長野県などが含まれるため、今回は東海大会と銘打って、皆様方をお迎えします。

れる人材養成のあり方や音楽、アクトビティなど、多世代の豊かな暮らしを創造するアートを考える機会になればと思っております。

においてこそ、名古屋発の福祉文化の創造が花開き、活動が活性化することを大いに期待しています。

## NAGOYA 名古屋

東海大会 大会実行委員長  
アピール

## 第1回中部東海ブロック大会 名古屋発、「福祉文化元年」を築く — 今こそ、人を育てる、アートを創る

2019年度日本福祉文化学会全国大会東海大会  
大会実行委員長 中島洋(中京大学)



第30回日本福祉文化学会  
全国大会 東海大会  
2019年11月30日(土)～  
12月1日(日)  
中京大学 名古屋キャンパス  
センタービル(0号館)6階  
(〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区  
八事本町101-2)

山折り

編集委員会  
担当理事・中島洋

## 『福祉文化研究』についてのお知らせ

機関誌『福祉文化研究』第29号(2020年3月刊行予定)の投稿原稿の締め切り日は、**2019年8月31日**(当日消印有効)です。

なお、第28号(2019年3月刊行分)から、再び冊子体に戻し、全会員に配布されます。各会員の研究成果をアピールする絶好の機会です。原著論文、研究ノート、現場実践論などの投稿(いずれも査読有)をはじめ、プロジェクト研究の論文投稿(査読有)、各ブロックでの活動報告(特集記事)なども順次、とり上げていきますので、会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしています。

広報委員会  
稲田泰紀

## ホームページ引越しました

ホームページプロバイダーのサービス終了に伴い、日本福祉文化学会のホームページを新しく引っ越しました。

出来る限り違和感の無いように、ホームページを移行させていただきました。

新しいホームページアドレスは

『<http://fukushibunka.hippy.jp/>』となります。皆さまにはご面倒をおかけしますが、新しいサイトをブックマーク、お気に入り登録をお願いします。

新ホームページのQRコードも掲載しておきます。これからも学会の広報媒体として活用いただければと思います。



## メールマガジン登録 随時募集中☆(お誘い)

日本福祉文化学会の活動をタイムリーに周知を行うために、『日本福祉文化学会メールマガジン』を発行しています。

不定期ですが、学会ブロック活動や委員会の活動などをお知らせしています。

メールマガジンを利用した、自己紹介や近況報告など、会員同士の交流も行っています。まだ登録されていない方は是非、登録をお願いします。

## 登録の方法

### \*参加までの流れ\*

- ①希望者が [fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp) に『メルマガ登録希望』とメールを送る。※学会ホームページからも申し込み可能です。
- ②『オールサーバー』より招待メールが届きます。
- ③招待メールに掲載してある、参加用URLをクリックする。
- ④参加の承認とお名前(ニックネーム可能)登録して参加完了。

参考)『オールサーバー』<http://ml.allserver.jp/about.jsp> を利用します。

- メール本文広告なし/広告メールなし
- 登録は無料です。



お問い合わせ 日本福祉文化学会 事務局

TEL : 06-4963-3410 Email : [fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp)  
URL : <http://fukushibunka.hippy.jp/>

## 新入会員紹介コーナー

関西ブロック 石黒 慶太

所属：大阪府立砂川厚生福祉センター

### 【自己紹介】

私は知的障害のある成人のセクシュ

アル・ライツに関心があり、当事者へのインタビューや実践を通して差別構造を明らかにしていきたいと思っています。

新自由主義の傾向が強くなっていると感ずけられない現代において、福祉文化は、そういったことを含む社会的弱者に関する事象に対しての

社会の在り方を提起する上で、必要不可欠な視点ではないでしょうか。

私事ですが、今年は少し忙しくなっています。しかし、上手く時間を確保して論文を執筆し、それを貴学会へ投稿できれば…と思っています。

まだまだ未熟な私ですが、どうぞよろしくお願いたします。

## 会員情報

- 2018年2月28日までに新規でご入会された方のお名前と所属ブロックをお知らせいたします。(敬称略)  
〈個人会員〉中根 篤(中部・東海)、タナカアリフミ(中部・東海) 小山 ゆり(中部・東海)、宮崎 昌代(中部・東海)  
〈団体会員〉(株)豊田マネージメント研究所(中部・東海) TSU・NA・GU PLANNING(中部・東海)
- 2018年2月28日現在  
〈会員数〉個人会員 254名 学生会員 7名 団体会員 8

平成もいよいよ残りわずかになってきました。この30年の間に時代の変遷とともに沢山の出来事がありました。自分としては特に自然災害が多かったように思います。福祉文化の分野においても、様々な動きが見られています。今号の表紙には第1回中部東海ブロック大会のお誘いが掲載されています。新たな元号とともに開かれる大会に、ぜひ皆さんからも参加・協力して頂ければ幸いです。食欲全開で生きているパン好きな私は名古屋の小倉トーストも楽しみにしています(い)。

編集後記

山折り



Pick up!!

北海道ブロック

東北ブロック

北陸ブロック

関東ブロック

中部・東海ブロック

関西ブロック

中・四国ブロック

九州ブロック

沖縄ブロック

各委員会

沖縄ブロック報告 — 安里 和子

沖縄ブロック活動報告一例  
「新春福祉文化記念講演」  
沖縄福祉文化を考える会 安里 和子

「沖縄福祉文化を考える会」(会長 佐久本真智子)においては、毎年、10項目程度の事業計画を組み、ほぼ確実に実行している。年間計画に寄せる会員の期待は大きく、就中(なかなずく)、毎年2月に開催される新春記念講演会は、会員以外の人たちからの関心も大きい。そこで、同講演会を例に、わが会の活動状況を紹介します。

新年早々に開かれる「新春福祉文化記念講演会」は、毎年、その時々々の時事問題や重要な社会問題を対象にテーマを設定し、斯界の専門家を招聘して講話を何うのが慣例である。今年は、連日報道される児童虐待や子どもの貧困などの課題を取り上げ、『こども家庭リソースセンター沖縄』代表の與座初美氏を招いて、貴重なお話を聞くことが出来た。20年以上のキャリアを擁する講話は具体的で、子育て支援やファミリーサポート、託児ルーム、ジョブカフェ事業(就労支援)など、私たちが活動を継続していく上できわめて示唆に富むご講話だった。豊かなアイデアを有する同氏は常に何かを創り出しており、ここに紹介する「こども正月」もその一例である(写真参考。右上奥のエブロン姿が與座氏)。



こども正月

研究委員会 — 藺田 碩哉

「福祉文化批評」にチャレンジしよう

社会福祉の現場では日々さまざまな活動が展開されています。毎日のように繰り返されている日常の営み、時々行われる各種イベント、時には「事件」が起きたり、解決すべき問題点が浮かび上がってくることもあります。それらを狙上に載せて「文化」という照明を当て、良いところや悪いところを指摘したり、その背後にある仕組みや仕掛けを検討したり、今後の方向を考えたりするのが「福祉文化批評」です。

学会ホームページには「福祉文化批評」のページがあって、いろいろな問題を取り上げてさまざまな視点から論じています。研究論文のように長くはありません。ぜひ読んでみてください。あなたの実践や研究に必ずいいヒントが得られること、間違いありません。そしてそれらについてあなたも一言発したくなるテーマがあるはず。そう思ったら「福祉文化批評」を書いてみてはいかがでしょうか。掲載文の中には「批評の書き方」について紹介しているので参考にしてください。書かれたものについての質問や疑問点を投稿していただいてももちろん結構です。

「批評」こそは研究の原点です。福祉文化研究の充実、会員の批評精神の高まりに基盤を置いていると思います。「福祉文化批評」にチャレンジしましょう。

やっぱり福祉には文化が必要

関東ブロックの皆さん、お待たせいたしました。なかなか動き出せなかった関東ブロックでしたが、「亀さんスタート」で、そろそろ動き出しました。この通信が届く頃には、皆さんと交流ができるようになるはず。これから考えると、少し「ワクワク」しています。是非、皆さんもその輪の中に入って、いっしょに「ワクワク」してみませんか。

関東ブロックで、まずしようとしていることは、「日本福祉文化学会関東ブロック Facebook」を使った交流です。イベントなどの情報交換をしてみませんか、社会の出来事に対して感じていることを出し合ってみませんか、自分の考えや想いを発信してみませんか、時にはみんなで「怒り」を爆発させてみませんか。

— 小沼の「つぶやき」—

小学校4年生の栗原心愛さんがお父さんから虐待を受けて亡くなってしまいました。  
障害者の雇用について、各省庁などの雇用率が水増しされていました。制度や法律は整ってきているのに.....  
福祉の文化が育っていなかったのではないのでしょうか。  
やっぱり福祉には文化が必要。  
「日本福祉文化学会」で福祉の文化を培っていききたいものです。

皆さんは、単なる「福祉」に物足りなさを感じているから「日本福祉文化学会」に入会されておられるのではないのでしょうか。

Facebookで、そんな想いを出し合ってみましょう。それを熟成させながら「福祉文化のひろば」(仮称)を開催、さらに関東ブロックイベントにつなげたいと思っています。皆さんがたくさん参加してくださることを、期待いたしております。参加の方法等についての詳細は、同封のチラシあるいは学会ホームページの関東ブロックのページをご覧ください。

童謡唱歌で健全育成

葡萄、スイカ、桃、メロン等、四季の果物、山海の珍味があふれる日本。私たちは食べることの幸福に満たされています。

しかし年を重ねるに連れて「タネがあるから…」「骨があって…」などと、食べるという作業に不都合が生じてきます。

そこでタネのない果物が作られ、食べやすいようにカットされ、魚においては骨をとった状態で売られていたり、ほんとに便利な世の中になりました。

しかし、便利は唇、舌、喉頭など、食べるために重要なパーツの機能低下を招き「ぶどうの食べ方がわからない」「口の中で実とタネ、骨の選別ができない」そんな子どもが増えているのも現実です。それは子どもの低位舌(ていぜつ)、不正咬合(ふせいこうごう)、高齢者の誤嚥・誤飲(ごえん・ごいん)の大きな要因であり、改善・解決のため、歯科医院を中心に様々な研究・対策がなされています。

我々は、これに対し文化の力で貢献していきたいと、



月一度の異業種勉強会を開催し、まとめた教材の制作を行っています。そして、そのための練習曲を童謡・唱歌に限定しました。何気なく歌っている童謡・唱歌。「リズム」「メロディー」「ハーモニー」そして「言葉」。少し工夫するだけで思いもよらない効果を心と身体にもたらしてくれます。将来この教材を教科書にして福祉音楽コーディネーター(仮称)を育成し「文化の福祉化」の一助を成したいと考えています。

ブロック活動報告  
及び  
委員会よりお知らせ



会長より

日本福祉文化学会  
第30回大会  
『東海大会』に向かって

会長 石田 易司

日本福祉文化学会が発足し、30年目を迎えた。満29歳である。“30にして立つ”という孔子の言葉を借りると、一人の大人として生きていく覚悟を決めるステージに立った。私の思う大人像は創造のできる力が持てる人のこと。新しいことに挑戦することができ、そのことに責任を持てる人のことだ。

今回、名古屋地区で大会を実施することになった。真の福祉文化の時代を創る地での実施だ。そのことに賛意を示していただいた中部東海ブロック担当の平田理事、又、転任1年にもかかわらず会場に名乗りを上げてくださった中島理事に大きな謝意をささげたい。そして、二人のリーダーシップのもと、運営に協力して下さる、たくさんの方の学会ニューフェイスの人々に大きな拍手を送りたい。

日本福祉文化学会のこれまでの足跡を思うとき、多くの先人たちの苦勞の積み重ねでここまで続けてきたのだろう。そのことを最大限尊重しながら、今、私たちは新しい一歩を踏み出したいと思う。“故きを温ねて新しきを知る”ということもあるだろうが、今は、この新しい一歩をみんなで踏み出すことを大切にしたいと思う。新しい風がこの学会には必要なのだと思ってほしい。

この名古屋での東海大会が新しい風のきっかけになればと思う。新しい人たちが取り組む大会に大いに期待しながら、これを契機に、私たちの新しい日本福祉文化学会をみんなで創り上げたい。



名古屋城天守閣